

第6回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日時 昭和52年3月16日(水) 午後2時～4時
2. 場所 宇宙開発委員会会議室
3. 議題

(1) 宇宙開発に関する基本計画について

(2) 世界無線通信主管庁会議の概要について（報告）

説明者 郵政省電波監理局審議官 門田 博

“ “ 周波数課長 上島史郎

(3) 国連宇宙空間平和利用委員会科学技術小委員会第14会期の概要について（報告）

(4) 技術予測調査報告について

説明者 科学技術庁計画局調査課長 吉村晴光

“ “ 航空宇宙技術研究所 山中龍夫

4. 資料

委6-1 第5回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨

委6-2 宇宙開発に関する基本計画について

委6-3 宇宙開発に関する基本計画製

委6-4 12ギガヘルツ帯における放送衛星業務の計画に
関する世界無線通信主管庁会議の概要について

委6-5 国連宇宙空間平和利用委員会科学技術小委員会
第14会期報告

委6-6 技術予測調査報告書の概要

委6-7 技術予測アンケート集計結果及びコメント例
（宇宙開発分野）

（参考配布） 宇宙開発計画（昭和51年度決定）

第 5 回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 要 旨

- 1. 日時 昭和 5 2 年 3 月 9 日(水) 午後 2 時～ 4 時
- 2. 場所 宇宙開発委員会会議室
- 3. 議題
 - 宇宙開発計画の改訂について
- 4. 資料
 - 委 5 - 1 第 4 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨
 - 委 5 - 2 宇宙開発計画案
- 5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	網 島 毅
" 委員	吉 識 雅 夫
" "	八 藤 東 福
" "	斎 藤 成 文
関係省庁職員等	
科学技術庁研究調整局長	園 山 重 道
" 官房参事官	佐 伯 宗 治
運輸省気象庁総務部長	宇津木 巖
	(代理：高橋)
" 海上保安庁総務部長	鈴 木 登
	(" : 佐藤)
郵政省電波監理局審議官	門 田 博
	(" : 寛)

郵政省電波監理局	原 田 祐 治
宇宙開発事業団システム計画部	宇 田 宏
" "	飯 塚 祐 久
事務局	
科学技術庁研究調整局宇宙企画課長	伊 藤 栄 一
" 宇宙国際課長	三 浦 信
" 宇宙開発課長	雨 村 博 光 他

6. 議事要旨

- (1) 前回議事要旨について

第 4 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨が確認された。
- (2) 宇宙開発計画の改訂について

事務局から資料委 5 - 2 に基づいて説明が行われたのち、以下の質疑応答が行われ、計画が決定された。

吉識：計画案の 4 頁上から 3 行目を「第 4 号科学衛星 (GORSA) 打上げの失敗以外は、——」と改めた方がよい。

事務局：そのように修正したい。

八藤：1.5 頁 3 の測地衛星は 2 の開発の方へ入れるべきではないか。

事務局：測地衛星に関しては、測地衛星 (GS) は開発研究の段階に入ったが、今後さらに高精度の測地衛星を研究することとしており、ここではこの両方を含めている。また、宇宙開発計画では「開発」と「研究」に大別していて、「開発研究」は従来から「研究」の項に入れており、今回もそれにならつたものである。

網島：GMS、OS、BSの所で「米国に依頼して静止軌道――に打ち上げる。」とあるが、静止軌道投入は事業団が行うので、表現をそのように変えるべきではないか。

事務局：従来「米国に依頼して」と記述されていたが、打上げは米国、軌道制御は我が国ということを正確に表わすため「米国の協力を得て」と改めたい。

吉識：18頁のMロケットの開発については、第8号科学衛星を打ち上げた後は、Mロケットの開発はやらぬということか。

園山：Mロケットの開発については、信頼性が得られる段階まで行うということになっている。^の「第8号科学衛星を所定の軌道に打ち上げるまで」という文章は宇宙開発計画上は第8号科学衛星までが計画されていることに基づくものであり、^{同様の打ち上げロケットは既に}関係省庁もこの子解にそつて計画を進めている。